

放射性セシウム吸収抑制対策

① 加里質肥料を基肥の時期に施用

那須町
塩化加里 18 kg/10a (作付前に増肥)

【農畜産物放射性物質影響緩和対策事業(放射性物質の吸収抑制対策)対象市町村】
那須町

その他の地域

土壌加里濃度の改善目標値を30 mg/100gとして、加里を増肥する
塩化加里の増肥量(kg/10a) = (30 - 土壌の交換性加里濃度(mg/100g)) ÷ 0.6
(黒ボク土の場合。灰色低地土の場合は、上記式 × 1.35。)

※加里質肥料を施用し土壌改良した上で、県の施肥基準に応じた施用を行いましょ

なお、加里質肥料の施用量が多いとマグネシウムの吸収を阻害する場合がありますので、は種前の酸度矯正の際に
苦土炭酸カルシウム肥料等を施用し、マグネシウムを補給しましょ

② 20 cm以上に深耕

作土層を拡大して根張りを深くするとともに、放射性セシウムを土壌に吸着・
固定させることにより、放射性セシウムの吸収量を減らします。

③ 倒伏防止

倒伏により土壌等の異物が混入しないように、①早播きをしない、②適正な播
種密度とする、③多肥栽培(加里を除く)をしないなどの倒伏防止対策を行いま
しょ

④ 収穫物の汚れ防止

収穫時に土壌等が混入しないよう、通常より高刈りしましょ。また、調製を
丁寧に行い、土壌等の異物を取り除きましょ。特に、倒伏したほ場から
収穫されたそばは、丁寧に磨くことが汚染防止につながります。